

四條畷市下水道工事 竣工図作成要領

1. 竣工図の作成

施工業者は竣工図の作成に先立ち、原稿を作成し、市職員の審査を受けなければならない。

前項の審査終了後、市職員の指示に基づき、以下に定める方法によって作成しなければならない。

2. 提出期限

提出については、施工目的物引き渡し日までに提出しなければならない。

3. 提出図面等

印刷物（縮小A 3版） 2部

電子データ（AutoCad等） 一式

※電子データについては、市のパソコンで利用できるか市職員の確認を受けた後の提出とする。

4. 費用等

竣工図作成に要する費用は、施工業者の負担とし、また作成に基づく一切の事項についても施工業者において処置するものとする。

5. その他

この要領に定めのない事項については、市職員の指示によるものとする。

6. 記載方法

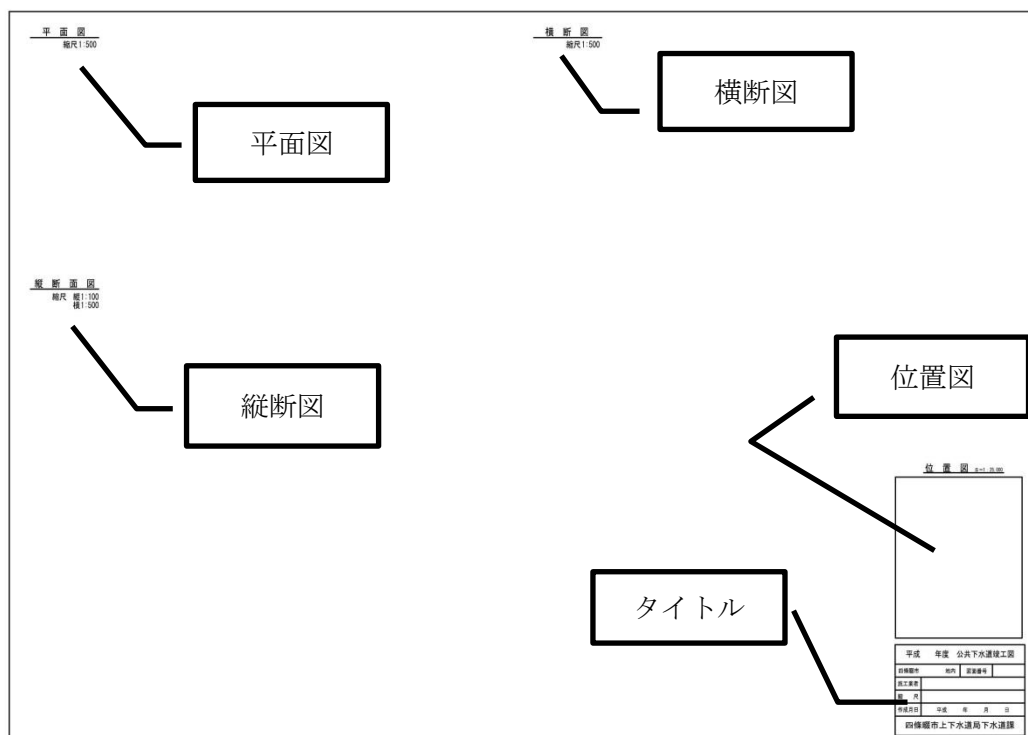
(1) タイトル

タイトルについては下のとおり標記するものとする。

平成 年度 公共下水道竣工図			
四條畷市	地内	図面番号	
施工業者			
縮 尺			
作成月日	平成	年	月 日
四條畷市都市整備部下水道課			

(2) 竣工図面の位置関係

下のおり平面図、縦断面図、横断面図、位置図を標記するものとする。なお、1枚の図面に収まらない場合は、この限りではない。



(3) その他共通事項

- ・地下埋設物は、試験堀結果等の資料で各図面に記入すること

(4) 縮尺等

図面種類	縮尺	備考
位置図	1 : 2,500	
平面図	1 : 500	
縦断面図	縦 1 : 100 横 1 : 500	
横断面図	1 : 100	人孔部のみ記載する
構造図	1 : 50~100	特殊構造物のみ記載する

※これによりがたい場合は監督職員と協議するものとする。

(5) 平面図

①人孔

人孔型式は下表の凡例から記載すること。

最寄りの不動点より鉄蓋中心までの距離を2点以上記載すること。

②本管

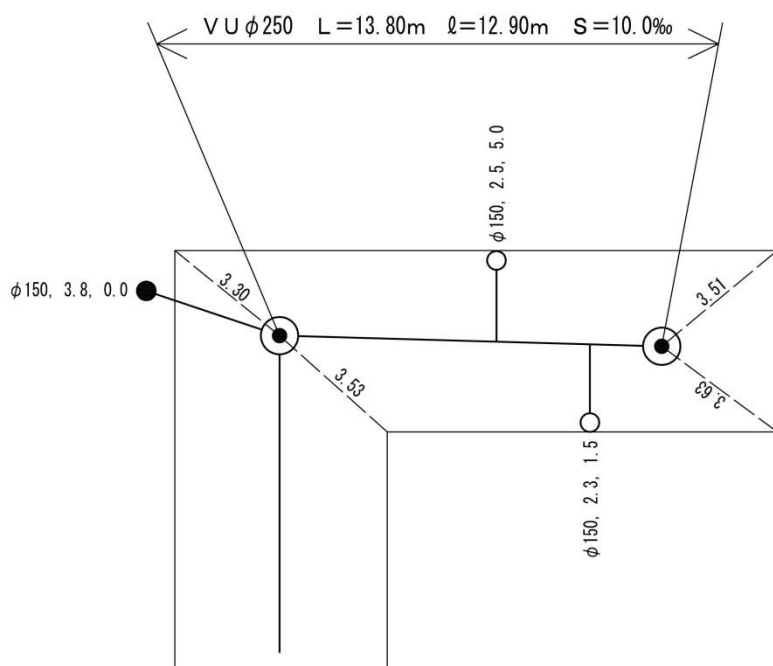
人孔間で旗揚げし、管種・管径・施工延長・管路延長・勾配を記載する。

③公共樹、取付管

公共樹形式は下表の凡例から記載すること。

公共樹付近に取付管管径・取付管延長（樹中心から本管中心までの距離）・上流側人孔鉄蓋中心より取付管中心までの追加距離を記載すること。

平面図記載例



凡 例	
	0号マンホール (内径75cm円形)
	1号マンホール (内径90cm円形)
	2号マンホール (内径120cm円形)
	3号マンホール (内径150cm円形)
	4号マンホール (内径180cm円形)
	00号マンホール (内径60cm円形)
	だ円1号マンホール (内径60×90cmだ円形)
	矩形渠用マンホール
	特殊マンホール
	副管付きマンホール
	1号合併樹 (内径35cm円形)
	2号合併樹 (内径50cm円形)
	1号汚水樹 (内径35cm円形)
	2号汚水樹 (内径50cm円形)
	雨水樹
	塩ビ樹

(6) 縦断面図

流量・流速・管径・人孔間距離・管路延長・勾配・土被り・地盤高・管底高・追加距離・測点について記載すること。

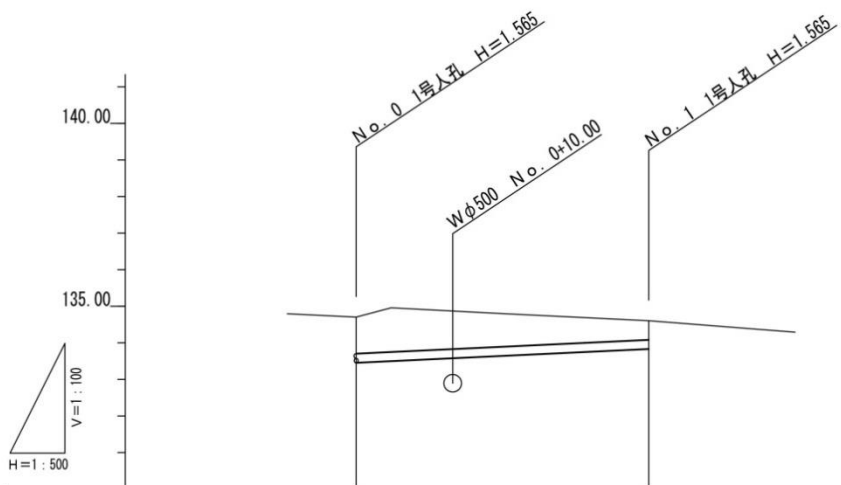
(7) 横断面図

地盤高・管底高・管種・管径・道路幅・人孔鉄蓋中心より路肩までの距離を記載すること。

土留材を存置した場合は、種類、型式および数量を記載すること。

人孔の位置・型式・寸法を記載すること。

縦断面図記載例



流速		0.159	
流量		1.268	
管径		V U φ 250	
人孔間距離		26.60	
延長		25.30	
計画管勾配		35.60‰	
土被り	1.00		1.00
地盤高	145.416		146.383
管底高	144.416		145.383
追加距離	0.00		26.60
測点	No. 0		No. 1

横断面図記載例

No. 1 (1号組立人孔)

GH=25.74
FH=24.314 VU φ 250

